



岡山市連合町内会会報

第43号

令和6年9月発行

発行人：永見 勝 編集委員長：正保弘行
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 TEL:086-803-1063 FAX:086-803-1872

[ホームページ簡単検索](#)

岡山市連合町内会会報

検索



会長あいさつ

岡山市連合町内会 会長 永見 勝

新秋の候、町内会関係各位におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から各地域の住民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりと地域の活性化を目指して、それぞれの団体と共に日々ご活躍いただいておりますことに、心から感謝申し上げる次第です。

私議、岡山市連合町内会会长という大役に就任して以来、3年がたちました。引き続き誠心誠意職責を果たしてまいりますので、皆様からのより一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

長く続いた新型コロナウイルスの影響もようやく一段落する中で、今年度の総会は、コロナ前とほぼ同様に開催し、様々な会務を執り行うことができそうです。ご協力いただきました皆様並びにご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。今後も、岡山市連合町内会の発展と各地域の活性化に努めてまいります。

岡山市連合町内会はすべての地域が一体となった

組織であり、多様な地域活動の中心的な役割を果たしています。『地域の皆様が安全で安心して生活できること』は、私たちの最優先事項です。その環境を実現するために、岡山市連合町内会として、地域の皆様の声を大切にし、住民と行政等が解決策を共に考え、さらなる安全・安心なまちづくりに寄与してまいります。

終わりになりますが、皆様のご健勝、ご多幸を祈念するとともに町内会、連合町内会活動への、ご支援ご協力をお願いし、会報発行のご挨拶とさせていただきます。



定期総会の様子

会報 第43号 目次

会長あいさつ	1
令和6年度定期総会	2
大森市長との懇談会	4
岡山市議会との懇談会	4
防災コラムその6	5
岡南飛行場に 「空飛ぶクルマ」の格納庫が完成	6
「ベジ・ファーストOKAYAMAプロジェクト」を 開始しました	7
連合町内会の要望活動について	8
令和6年1月能登半島地震被災地への 義援金協力のお礼と報告	8

学区・地区の話題	中央・北	9
	中・東	10
	西・南	11
コラム	中央・北	12
	中・東	13
	西・南	14
岡山市連合町内会の動き		15
岡山県自治会連合会の動き		
全国自治会連合会の動き		
クイズ		16
編集後記		16

令和6年度定期総会

岡山市連合町内会は、令和6年5月31日午前10時からピュアリティまきびにおいて、市内学区・地区連合町内会長等の出席のもと、令和6年度定期総会を開催しました。

はじめに、永見勝会長があいさつを述べた後、岡山市連合町内会表彰規程に基づき、永年町内会活動に功績のあった方々に対し、表彰状、感謝状及び記念品の贈呈が行われました。

会長表彰

【学区(地区)連合町内会長】

内山下地区連合町内会	松 浦 満
深柢地区連合町内会	飛 岡 宏
弘西地区連合町内会	岸 本 俊 男
南方地区連合町内会	小 野 大 作
西学区連合町内会	祇 園 茂
鯉山学区連合町内会	練 尾 賢 治
福谷地区連合町内会	坪 井 茂
芳泉学区連合町内会	中 村 俊 正
福田学区連合町内会	正 保 弘 行

会長感謝状

福浜学区連合町内会	谷 多賀巳
曾根学区連合町内会	小 寺 範 明



表彰・感謝状受賞者の皆様

ご臨席いただいた大森雅夫岡山市長、田口裕士岡山市議会議長から祝辞をいただいた後、議案の審議に入りました。

- ①令和5年度事業報告
- ②令和5年度収支決算報告及び監査報告
- ③役員の承認
- ④規約の改正
- ⑤令和6年度事業計画(案)
- ⑥令和6年度収支予算(案)
- ⑦その他

慎重に審議を行った結果、いずれの議案も原案どおり承認されました。

令和6年度 事業計画(案)

岡山市連合町内会は、令和6年度事業計画を次のとおり定める。

岡山市連合町内会は、包括的な住民自治組織であり地方分権型社会を形成する基盤である。平穏で安らぎのある良好な地域社会の維持及び形成に向けて、地域活動を推進し、行政との協働による魅力溢れる「まちづくり」を推進し、政令指定都市岡山の発展に寄与しているところである。

このため、安全・安心ネットワークの代表者を、岡山市学区・地区連合町内会会长が務めることが有効適切な活動の推進につながるものであり、当会が創立以来実施している安寧な地域社会の構築に向けた地域の実情に即した運動を引き続き展開していく。

先の東日本大震災や西日本豪雨災害等の自然災害を教訓として、地域の実情に即した防災対策と自主防災会組織率の向上に可及的速やかに取組むことが肝要であり急務である。このほか、すべての住民が安心して暮らせるコミュニティづくりや犯罪のない岡山市の実現に寄与できるように努める。

また、姉妹提携や友好提携を結んだ自治会、組織をはじめ、他の住民自治組織との交流により、課題の共有と解決に向けての意見交換に努める。具体的には次の事業を推進する。

1 岡山市連合町内会の組織としての取組み

① 岡山市連合町内会の地位の向上

「市民憲章」を尊重し、地域を束ねるリーダーとしての自覚をもち、「平穏で安らぎのある地域社会」「思いやりと譲り合いの心を育む地域社会」の構築と、地縁組織の連合体としての役割を果たすべく全市的な視野での情報交換や広報活動を展開するとともに、行政等との協働による課題解決のために、必要に応じて関係機関と折衝する。

② 魅力溢れる「まちづくり」や大型イベントへの参画

岡山県、岡山市等の各種審議会等へ委員を派遣し、住民生活に直結する諸問題について包括的住民自治組織の代表として、意見を開陳するとともに、岡山市区づくり推進事業審査会委員としても積極的に取組み、区制による都市内分権型社会の推進に向けて中心的な役割を担う。民意を反映するのは町内会(自治会)であるとの自覚をもって活



動を展開する。

③ 会員の資質向上についての取組み

地域を統括、調整するリーダーとしての見聞を広めるため時宜を得たテーマにより先進都市の行政や住民自治組織の活動状況等の視察を行うとともに、地域住民の多様なニーズに的確に対応できるよう研鑽に努める。

④ 市長、市担当部局との懇談

地域課題の解決に向けて、行政と意見交換を行い、町内会と行政との相互理解と協力関係のより一層の充実を図る。

⑤ 産学官及び各種団体との交流・連携

幅広い視野から地域づくりのリーダーとしての活動を行うため、行政、産業界、教育界及びボランティア組織などの各種団体との交流、連携を推進する。

⑥ 他自治会との協調

姉妹交流提携及び友好交流提携を結んでいる自治会や組織の他、全国自治会連合会や岡山県自治会連合会加盟をはじめとする他の自治会との絆を深めるとともに課題の共有と解決に向けての意見交換に努める。

⑦ 広報活動の充実と市民情報化の推進

岡山市連合町内会会報を発行し、当会の事業活動の広報に努める。

また、ICT推進専門委員会を核として、市民情報化及び電子町内会の拡大推進を図る。

⑧ 町内会、自治会への加入促進活動

昨今、町内会等への加入率が、やや低下傾向に推移していることに鑑み、魅力ある町内会活動をホームページ等に紹介するとともに、他団体との連携を強化し未加入者への加入促進活動を促す。

⑨ 岡山市町内会長等懇談会の開催と各区連絡協議会等との連携強化

当会の活動状況等を広く広報し、岡山市内の町内会役員等との情報交換及び、相互の理解と連携を深めるために岡山市町内会長等懇談会を開催するとともに、各区連絡協議会等の活動支援を行う。

⑩ 各種専門部会の活動強化

当会の中に設置されている各種の専門部会の活動をより活発化させ、課題解決のために、岡山市連合町内会の考え方として発信する。

⑪ 顕彰の実施

会長表彰・感謝状贈呈の他、叙勲、総務大臣、全国自治会連合会会長表彰、岡山市有功表彰、県知事表彰及び市長表彰等の顕彰制度に幅広く推薦を行い、功績を讃える。平成22年度創設した「れんげ賞」も継続する。

2 行政と連携したまちづくりの取組み

① 子ども・子育て支援

地域の実情に合った保育や教育について、スピード感を持ってサービスが提供されるよう、積極的に行政への申し入れを行う。

② 防災・防犯活動

防災訓練を各地域で積極的に実施するとともに、地域の防災対策を熟知した町内会において災害時の避難場所への誘導法や安否確認方法について情報を共有し、災害被害を軽減する対策を検討する。また、高齢者に対する特殊詐欺等、防犯に対応する活動を検討する。

防災土養成講座の受講者推薦を積極的に行う。

③ 交通対策

交通の拠点都市である岡山市の公共交通のあり方について、地域の代表として積極的に意見を出しながら、人にやさしい交通のあり方を考え、地域における交通安全のための各種活動に幅広く取組んでいく。

④ 男女共同参画社会の推進

女性が町内会の役員として活動しやすい環境づくりについて男女共同参画専門部会において検討する。

⑤ 協働のまちづくり条例の推進

地域の実情を把握している学区・地区連合町内会が、地域内で行っているESD活動等の地域活性化や課題解決への活動について、行政等と協力して支援を行う。

⑥ 行政との連携強化

上記の項目以外の地域課題に関しても、解決に向け積極的に行政との意見交換や申し入れを行い、一層の連携を図る。

3 その他

①「市民憲章」を当会発行の印刷物等に掲載し普及を図る。

②新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対応を推進する。

③年度中途において、事業活動に繰入れるべき案件が生じた場合は、協議の上執行する。緊急を要する場合は持回り会議等において対処し、次回の理事会等へ報告する。



定期総会の様子

大森市長との懇談会

去る7月22日に本庁舎において大森市長と岡山市連合町内会とで懇談会を実施しました。

質問書・要望書は事前に市長に提出をしており、それについて直接質問をさせていただく形式で行いました。

①防犯灯・防犯カメラの設置及び管理について(物価高騰等の影響から防犯灯・防犯カメラの設置や維持管理に係る費用が町内会の負担となっている状況について)

⇒町内会活動ができなくなると行政側が大変なことになるので町内会の存続について考えていかなければならぬと思っている。どこまでできるのか、来年度の予算を考えていく中で、できるだけのことはしていきたい。

②児童クラブのWi-Fi環境の整備について
(児童クラブによっては、通信環境が悪く、スムーズな運営が行われておらず、地域差が生じていると思われる。児童にとって等しく良質な教育環境の実現に向けて)

⇒今後はタブレットを持ち帰って宿題をするという学習形態に変わるため、Wi-Fiが機能しない状態はあり得ない。早急に対応していく。

岡山市連合町内会
副会長 矢吹 滋道



このように色々な話題が出ました。また、防犯カメラの話題の中で、各小学校の防犯に関する議論にもなり、個人情報保護の関係から町内会が考えるような防犯活動ができていない状況を確認しました。市長からは今のルールがどうなっているのか、そのルールが理不尽なものであれば変えていかなければならないという認識のもと、一度整理したいとの回答がありました。

また、市内中心部のタバコの吸い殻ゴミの多さが問題として取り上げられました。



懇談の様子

岡山市議会との懇談会

8月6日に岡山市議会棟の会議室にて、正副議長、各委員会委員長・副委員長との懇談会を行いました。

今回は『岡山市連合町内会の位置づけについて』と、昨年度懇談会で取り上げたテーマについての総括を行うという形式で行いました。

まず、連合町内会の位置づけについては、これまで連合町内会の明確な定義がなかったことについて問題提起がされ、議会としても真摯に受け止め、課題とし、議会でも今後検討したい、との回答がありました。

また、昨年度の懇談会で取り上げられたテーマについては、その後、テーマにそって担当の委員会で協議、検討を行った内容について各委員長、副委員長から説明を受けました。

岡山市連合町内会
副会長 長門 修二



テーマは「岡山マラソンの委託内容」、「過疎地域の公共交通」、「水道管の老朽化、アリーナ建設」、「鳥獣被害」、「少子化対策・待機児童」、「区役所の権限、支所の維持」、「内水対策、農林ポンプ」、「空き家対策」、「敬老会、選挙の投票率(子ども議会)」、「鳥獣被害(モデル事業)」についてでしたが、解決に向かっているもの、未だ課題として残っているもの等の進捗状況を確認することができました。

最後にこの懇談会は来年度以降も継続して実施することで相互の意見が一致しました。継続して懇談会を行うことによって地域の課題を浮き彫りにし、連合町内会と議会が相互理解することが、ひいては市民福祉の向上につながるとの認識を共有しました。

■防災コラム その6

世の中の恐ろしいもの、敵わないものを順に並べた表現として「地震・雷・火事・親父」という言葉があります。今のように科学が発展する前は、突然起こって甚大な被害をもたらす地震が恐ろしいものの筆頭に挙げられたのでしょうか。

地震はその発生原因により3種類に分類できます。

1) 火山性地震

火山性地震は、火山内のマグマの移動により山体に亀裂や崩壊が起こり、その際に発生する振動が地震波として現れるものです。この地震動は、火山の噴火活動と密接な関係が有り、噴火の予測に用いられています。海底火山の地震・噴火により津波が発生する場合があります。



図-1 火山性地震（出典「地震調査研究推進本部」）

2) 活断層型地震

日本には2000を超える活断層が確認されています。活断層とは、数十万年間に繰り返し活動し、今後も活動すると考えられる断層のことを指します。この定義と、発生する活断層型地震の頻度が多く感じられますが、これは日本に活断層の数が非常に多いためです。

直下型地震と言う言葉を耳にしますが、これは私たちの生活圏の下で発生する活断層型地震のこと、工学的な呼び名ではありません。活断層型地震の特徴は、浅い深度が震源であるため、小さいエネルギー（マグニチュード）でも地表面に大きな地震動（震度）が伝わります。

「岡山には活断層が無い」と聞いたことがあるかもしれません、正しくは「岡山には発見されていない活断層が無い」となります。日本には発見され



図-2 活断層マップ
(出典「地震調査研究推進本部」)

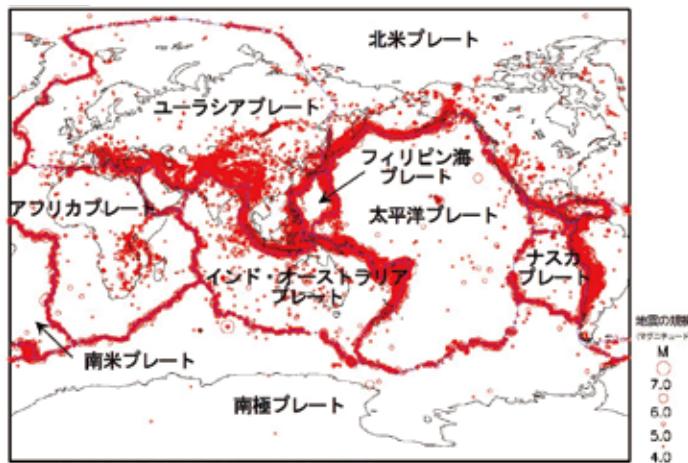
吉備学区連合町内会 会長 西村 輝
岡山大学大学院 非常勤講師(地盤防災工学)



ていない活断層が多くあるとの見解があります。それは海底であったり、分厚い堆積層の下に存在するため、発見が難しいからです。

3) 海溝型地震(プレート境界型地震)

地球表面には12枚のプレートと呼ばれる地殻が存在します。各プレートは年間数cmから十数cm程度移動しています。



※2014年から2023年の期間に発生した地震の震央分布。
点線は主要なプレート境界。震源データは、米国地質調査所による。

図-3 プレート境界と震央の分布

図-3に世界のプレート境界と地震の発生状況を示しました。

図からわかるように、地震の多くがプレート境界付近で発生しています。これは、プレートの移動による摩擦で沈み込みが起きその後解放される現象のためです。この解放時に大きなエネルギーが発生し、巨大地震となります。また、その時に大きな地殻変位が発生するため、その体積分の海水を押しのける現象も同時に発生します。これが津波です。

海溝型地震の特徴としては、規模が大きく、長い時間揺れ続き、余震の危険性の高いことが挙げられます。

日本周辺では、4枚のプレートがひしめき合っています。世界で4枚のプレートが近接しているのは日本とパナマの2エリアのみです。

世界中で発生する地震の数の約1/10が日本周辺で発生していると言われているので、予測できない地震に備えて、ハード面の準備と心の準備をお願いします。

暮らしの中で困ったときは、「なんでも相談窓口」をご利用下さい。

どんなときに相談したらいいの？

- どこに相談してよいかわからない。
- 医療費のことで相談したい。
- 医療・福祉・年金・保険（社会保障制度）制度を活用したい。
- 介護のサービスを利用したい、制度を知りたい。
- 退院後の療養生活についての不安。



まずは事前に、お電話でお問い合わせ・ご相談下さい。

電話：086-271-0976※窓口直通

（受付時間：毎週月～金曜日 午前9時～午後4時まで）

みなさまに支えられ、総合病院岡山協立病院は60周年を迎えました。

岡山医療生活協同組合

総合 岡山協立病院

〒703-8511 岡山市中区赤坂本町8番10号
Tel.086(272)2121 Fax.086(271)0919
ホームページ：<http://www.okayama-kyoitsu.jp>
E-mail：okayama-kyoitsu@okayama-health.coop

お手持ちのスマートフォンのカメラで左のQRコードを撮るだけで当院の最新のお知らせなどをご覧いただけます。

岡山県岡南飛行場
管理事務所
所長 真鍋 紳一郎

岡南飛行場に「空飛ぶクルマ」の格納庫が完成

岡山市南区、浦安学区に位置する岡南飛行場は、昭和37（1962）年に当時の岡山空港として開港し、まもなく63年目を迎えます。昭和63（1988）年に現在の岡山桃太郎空港が開港してからは、名称を岡南飛行場とし、小型航空機専用の飛行場となり今に至っています。（写真1）

この間、浦安学区をはじめ周辺学区の皆さま方のご理解の下、小型航空機の基地として、また、岡山県警察航空隊のヘリコプター「わしゅう」や、岡山市消防航空隊のヘリコプター「ももたろう（写真2）」の基地としても利用され、県の防災拠点の役割も担っています。



写真1 岡南飛行場全景



写真2 岡山市消防ヘリコプター
「ももたろう」
岡山市消防航空隊提供

航空機は人や物の長距離輸送に多く使われていますが、もっと身近で手軽な移動手段として、国内外で開発が進められているのが「空飛ぶクルマ（e VTOL：イーブイトール）」です。空飛ぶクルマは、「空の移動革命」とも言われ、電動化・自動化といった最先端の技術や、離着陸に広大な場所を必要としない運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段で、現在、運航等に関するさまざまな制度整備が国により進められています。また、渋滞する都市部や離島・山間部での新しい移動手段として、さらには災害時の救急搬送や迅速な物資輸送などの活用が期待され、来年4月から開催予定の大坂・関西万博でも目玉の一つとしても注目されています。

この空飛ぶクルマを活用して事業展開する「一般社団法人M A S C（マスク）」が、今年6月、新たに岡南飛行場で空飛ぶクルマの格納庫を整備されました。M A S Cは、倉敷市の水島コンビナートの企業が持つものづくり技術を活かし、先進的な航空宇宙産業の集積を図ることを目的に設立された団体で、全国に先駆け、社会実装に向けた空飛ぶクルマの実証フライトを県内外でたびたび成功させ、活発に情

報発信するなど、空の移動革命に向け意欲的に取り組まれています。

岡南飛行場に整備された格納庫には、これまで実証フライトを行ってきた機体（EHang社製 EH216-S（写真3））より大型の新機体（AutoFlight社製 V2000CG（写真4））を国内で初導入し、7月にはお披露目も行われました。同時に、令和10(2028)年を目指として、大阪から北九州へと広がる瀬戸内エリアで、空飛ぶクルマを事業化させるプロジェクト「S C A I 2 8（スカイ28）」をスタートさせ、今後は、この機体による事業化に向けた実証フライトを計画されています。



写真3 空飛ぶクルマ
(EHang EH216-S) M A S C提供



写真4 空飛ぶクルマ
(AutoFlight V2000CG) M A S C提供

岡南飛行場でも、この空飛ぶクルマによって、飛行場だけでなく周辺を含めた地域全体の活性化、賑わいの創出につながることを期待しています。一方で、空飛ぶクルマは、これから新しい乗り物であるため、国で進められている制度整備にしっかりと対応し、より一層安全で安心な、地域の皆さま方に愛される飛行場として運営してまいりますので、今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

「ベジ・ファーストOKAYAMAプロジェクト」を開始しました

保健所
健康づくり課

ベジ・ファーストとは、食事の時に最初に野菜を食べることです。このプロジェクトは、市民の健康づくりを推進するための「健康市民おかやま21(第3次)」計画の一環として、「ベジ・ファースト(野菜から食べよう)」をスローガンに、国が推奨する野菜1日350g摂取を官民連携のもと目指します。



岡山県の調査から、岡山県民の野菜摂取量は、1日232.4gで、目標量の1日350gまで、120gも不足していることがわかりました。

(出典:令和3年県民健康調査)

野菜から食べることを意識すると自然に食事全体のバランスが整います。

ベジ・ファーストから始めて、みんなで健康になります!

野菜350gの目安

緑黄色野菜:両手1杯120g
淡色野菜:両手2杯230g

野菜350gの例



【岡山市の主な取り組み】

①小売店・飲食店への啓発、協力依頼

小売店や飲食店等に協力してもらい、自然に野菜摂取が増える環境づくりを進めます。
目印は、下記のロゴマークです。

②推定野菜摂取量測定会の実施

各地域の健康づくりイベント等で実施する計画です。
食生活の振り返りに活用してください。



地域とともに 未来を拓く

藤田団地事業協同組合
一般社団法人藤田団地管理会
藤田団地汚水処理施設管理組合
藤田企業団地自治会
〒701-0221 岡山市南区藤田564番地166
電話 086-296-0020
FAX 086-296-0021

家族葬・一般葬・社葬・法要・ギフト アーパルホール

岡山支社
☎(086)902-1122
岡南・西市・西川原・藤田・庭瀬・富山

倉敷 玉野
堀南 老松 中庄 藤戸 田井 荘内
福田 玉島 児島 児島上の町

ご葬儀・ご法要

さくら祭典

岡山駅前ホール
☎086-898-1234

岡山市北区駅元町5-1

県南9店舗展開

十日市ホール 上道ホール
江並ホール あかいわホール
今木一ホール せとうちホール
きびつホール 西大寺ホール

おいしいデザートのお菓子をどうぞ…



株式会社ドンレミー 岡山工場
岡山市南区藤田 566-276 ☎ 086-250-0511
ドンレミーアウトレット岡山店
岡山市南区藤田 566-276 ☎ 086-296-2871

小林内科診療所から名称変更

内科 脊髄内科 人工透析 皮膚科・美容皮膚科

青江クリニック

院長 原口 繁一郎(内科専門医) 副院長 原口 裕子(皮膚科専門医)

外来診療時間 ※予約制の診療科目もありますのでお電話でお問合せください

外来診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	●	●	●	●	●	●
午後3:30~6:00	●	●	●	●	●	●

休診日・祝日・日曜・木曜・土曜午後
および皮膚科・美容皮膚科は火曜休診

透析時間

月	火	水	木	金	土
午前8:00~	●	●	●	●	●
午後1:00~	●	●	●	●	●
午後5:00~	●	●	●	●	●

☎ (086) 岡山市北区青江5-1-3

226 - 5022

<https://tenseikai-aoe.or.jp/>

花回廊

DOWA

みんなで咲かそう
児島湖花回廊プロジェクト



児島湖花回廊サポートーズクラブ

〒702-8053 岡山市南区築港栄町 31-10

TEL (086) 262-2911

連合町内会の要望活動について

岡山市連合町内会
副会長 竹井 秋人



去る6月27日に大森市長あての「防犯灯・防犯カメラの設置及び管理」についての要望書を市民生活局長に本庁舎において、また田口岡山市議会議長に議長室において提出しました。

少子高齢化や組織率の低下等の要因もあって町内会の運営が年々厳しさを増している傾向にある中で、犯罪抑止に効果があるとされる「防犯灯・防犯カメラ」は、市の助成事業を活用して、各町内会が計画的に機器取替を含む設置を進めているところあります。

昨今の物価高騰の影響を受け、設置費等も上昇しており、電気料金の支払いも含め各町内会の負担が増大していることから、「防犯灯・防犯カメラ」の設置及び管理に係る費用の全額を岡山市で負担するとともに全市域に広がるよう取り組むことを要望いたしました。



議長への提出



市民生活局長への提出

令和6年1月能登半島地震被災地への義援金協力のお礼と報告

令和6年1月に能登半島を中心とした地域で、最大震度7の地震が発生したことから、岡山市連合町内会では、各学区・地区、単位町内会、町内会関係者皆様のご協力を得て、被災地に義援金をお送りすることができました。

各学区・地区、単位町内会、町内会関係者の皆様のご理解とご協力を賜りましたことに対しまして、深く感謝申し上げます。

今後も岡山市連合町内会へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 義援金総額

2,480,000円

岡山市連合町内会で各学区・地区、単位町内会、町内会関係者よりご協力を頂いた金額です。

2. 引き渡し先

石川県 石川県町会区長会連合会(金沢市)

3. 送金日

令和6年3月13日(水)

なお、引き渡し先であります、石川県町会区長会連合会から『この度の岡山市連合町内会の皆様のお心遣いに中川会長以下役員皆大変感謝をいたしております。本当にありがとうございました。』とのお礼文をいただいております。

社会福祉法人 鷲山会
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
岡山シリバーセンター

〒701-1345 岡山県岡山市新庄上545-1
TEL 086-287-5111 FAX 086-287-5005

岡山シリバー・デイサービスセンター
岡山シリバー在宅介護支援センター
ケアハウス ゆうすて イヤ 岡山

飛岡 ひおか
内科

受付時間 月 火 水 木 金 土 日
9:00 ~ 12:30 ○ ○ ○ × ○ ○ ×
16:00 ~ 18:00 ○ ○ ○ × ○ × ×

往診・在宅医療の実施
岡山市北区中山下 2-8-30

(086) 233-1188

久門田歯科医院

岡山市北区高松原古才680
電話予約 / 0120-575-205
休 診 / 木曜・日曜・祝日

診療時間 月 火 水 木 金 土
9:00-12:00 ● ● ● - ● ●
14:00-19:00 ● ● ● - ● ○
17:00まで



岡山市中心の町内会は過疎地です

深堀地区連合町内会
会長 飛岡 宏

岡山市中心市街地の町内会は、衰退の一途をたどっています。

深堀地区連合町内会のテリトリー内には、田町・中央町界隈、クレド岡山、川崎医科大学総合医療センター、ハレノワがあります。

昭和の末期、岡山市の中心市街地はドーナツ化現象により空洞化を続け、駐車場ばかりが増え、町内会を構成する家庭が減少しました。

30年経過した平成の末期「コンパクト・シティー」と言う言葉と共に、ドーナツの中心地へマンションが建ち始め、Uターンが起き、地域に住む人は「マンション住民」として増えましたが、町内会を構成する家庭は減少し続けています。そこで「マンションの建設時に住民を町内会へ入れれば良い」という意見はありますが、10年も経てば、マンションの管理組合が空洞化し、地域の町内会より離脱していることが多いです。このために「マンション全体を特別価格で加入する方式」を試みている所もあります。

単位町内会の構成人員が減少して行くため、町内会の統合も考えましたが、議論を行ったところ「構成員が減っている町内会を統合しても、世話をする人が無く、世話をする地域が拡大するダケなので、統合する意味がない」となり、単位町内会はどこかの時点で自然消滅する事になりました。この結果、当初34あった単位町内会は29になっており、減少が進行中です。

単位町内会が消滅した地域のお世話は、連合町内会が担うことになり、この他「地区の民生委員の選出」「選挙の投票立会人の選出」も行っていますので、この選出が難しくなっています。

岡山市へこの現実・実情を相談しても「町内会は市民の代表ではないので、対応は出来ない」との事で、万策尽きていました。

このまま、何の対策もなく時間が過ぎると、岡山市内の町内会組織は維持できないと危惧しています。何か良い方法はないか?と愚考していますが、名案はありません。どなたか名案をお持ちの方はいませんか?

ひらつおばけ屋敷

平津学区
おばけ屋敷実行委員会

ひらつおばけ屋敷は、中山中学校区の人々が世代や地域の垣根を越えて一緒に楽しむことができるイベントとして、平成18年からはじめました。コロナ禍の中止を経て昨年再開、今年は16回目の開催でした。

おばけ屋敷は、地元の小・中学生に高校生と大人を加えた実行委員が、約1か月かけて制作します。平津小学校の体育館にシートを敷き運動会で使う応援テントを並べてコースを作り、グループごとに大型テント一張分のブース作りを担当します。今年は2つのグループに分かれて、怪しい研究所からトンネルを通って神社へ続くブースと森の洋館ブースができました。

当日7月14日(日)は少し雨も降りましたが、たくさん的人が集まってくれました。焼きそばやかき氷などの屋台も出て、夏のイベントらしい楽しい雰囲気です。入場を待っていると、泣きながら出てくる子どもがいたりして気分が盛り上がります。順番になり入口を入れると「きやー」という先に入った人の悲鳴が聞こえ、ドキドキしながらスタートします。小さな子どもたちには怖くないコースも作ってあり、今年は2コース合わせて延べ1,680人が入場してくれました。

今回、嬉しいことがありました。地元にある岡山一宮高校のボランティアが大勢参加してくれたのです。大人スタッフの不足がここ数年の課題でしたから、柔軟な発想でコースを考え、小中学生を上手にサポートしてくれる高校生の存在は、今後の運営を考える上で画期的なことでした。

今や夏休み直前のイベントとして定着したおばけ屋敷は、地域の人が顔見知りになり、困っている子どもを見かけたら声掛けできるような町づくりが目的です。暑い最中の取組ですが、みんなで頑張りました。



おばけ屋敷へようこそ



おばけ屋敷大成功!

小学生と安全・安心マップを作成

旭竜学区連合町内会
会長 潑本 孝



旭竜小学校地域協働学校運営協議会及び旭竜認定こども園学校評議会では、令和4年度に、地域住民を事故や事件から守るために「生活安全マップ」を作成しました。マップは、評議会に参加する旭竜小学校、高島公民館、学区民が協力して作りました。

中心メンバーとなったのは、旭竜小学校の当時の4年生（現在は6年生）25人でした。

マップは「安全な場所」と「危険な場所」の視点で2種類作り、安全な場所としてA E D設置施設のほか駐在所やコンビニ、防犯カメラのあるか所を示し、危険な場所として、見通しの悪いカーブミラーのないカーブや柵のない用水路などを挙げています。

マップの作成にあたっては、高島公民館職員が教室で児童にアドバイスをし、住民と保護者が児童と一緒に学区内を歩き、現地の様子を確認したうえで地図に書き入れました。

令和5年3月にマップを完成させ、2,500部印刷し、学区内の全戸に配布しました。

令和5年5月には、同小学校の5年生の代表児童5人が、「生活安全マップ」を持って、大森雅夫岡山市長に対し、カーブミラーや用水沿いの防護柵の設置を要望しました。

その結果、令和5年度でカーブミラーが2か所、用水沿いのガードパイプが2か所整備されました。

そこで、本年4月16日、同小学校6年生の代表児童2人が、市長に対し、お礼のあいさつに行きました。市長から、「危険なか所を見つけてくれてありがとう。これからも危険な場所など、気がついたことがあつたら教えてください」と、感謝と励ましの言葉をいただきました。



マップ作りの教室

いきいき江西学区 学園都市：生徒と住民のふれあい祭

江西学区連合町内会
会長 田淵 太一郎



江西学区連合町内会はJR山陽線瀬戸駅を中心に15の町内会で構成され世帯数5,120余の連合町内会です。学区内には、保育園2園・こども園・小学校・中学校・高等学校2校・高等支援学校1校・大学校1校9つの教育機関が存在し、教育環境の整った地区です。このような状況から、市街化区域は居住空間を求めて、宅地造成が進み人口も増加しています。学区内への子育て世代の移住が多くあり活気のある地域になっています。この地域の特性を生かして、区づくり推進事業によりいきいき江西学区学園都市：生徒と住民のふれあい祭を開催しています。今年で第13回目となる祭は、15町内会をはじめ、学校園・学区内の福祉関係団体と連携してふれあい祭を開催します。

この祭を通じて学校や保育園の学習や練習の場となり、また、地域に関わる各種関係団体の健康21推進協議会・愛育委員会・栄養改善協議会・民生委員協議会・社会福祉協議会・赤磐警察署・消防関係者等は特色ある活動を展開する交流の場となります。

ステージ活動においては、瀬戸高等学校吹奏楽部のオープニング、書道部による書道パフォーマンスに続き、保育園・小学校の児童生徒が躍動し、観覧席の観客が歓喜する演出をします。15町内会、福祉関係団体の出店メニュー持ち寄り飲食席では旧友知人と語り合い人の輪と和を育む会場になります。後半は、IPU環太平洋大学ダンス部によるダンスパフォーマンス、瀬戸中学校のソーラン演舞、キッズダンスhappinessのヘアメイクした子供たちのダンスと続きます。フィナーレは大学・中学校・happinessの曲でアンコールの連続となり、音響と司会の誘導で有終の時を迎えます。江尻レストパークドーム広場に集まった観客は見て・喋って・食べて・お土産を買って初秋の一日を楽しんでくれます。



昨年度のふれあい祭の様子



「昔遊び交流会」で児童との交流

灘崎小学校迫川分校学区
茂曾路町内会長 畠山 耕一



灘崎小学校迫川分校は、1年生～3年生児童19人が通っています。4年生からは灘崎小学校(本校)児童と一緒に学びます。3年生の終わりには1/2卒業式があり保護者他地域の方々も参加し送ります。岡山県南では珍しい分校です。

分校学区連合町内会は、奥迫川、茂曾路、迫川3町内会で構成される、こじんまりとした連合町内会ではありますが、スクラム隊による児童の登下校の見守り、青色防犯パトロール隊と連携して地域の「安全・安心」に努めています。

昨年に続き、去る6月13日13:40～15:00「昔遊び交流会」が迫川分校で開催されました。体育館で児童は自己紹介、私たち町内会、スクラム隊、民生委員20名は名前のみ紹介です。

日頃は、登下校の見守り等でお世話になっている地域の方々に児童とのふれいあいを通して、感謝の気持ちを伝えるための会として迫川分校が計画してくれています。体験交流は①水鉄砲②竹とんぼ③コマ回し・お手玉・けん玉でした。児童は①～③を班で回ります。

私は、暑く日差しの強い中運動場で昨年と同じ竹とんぼ担当でした、竹とんぼは手作りで羽根の大きさ角度の違った物が20本位あります。児童も大人も飛ばしてみては違うものと交換です。

一応、大人は飛ばし方の先生です。手取り足取り教えると児童は何回も何回も挑戦、コツをつかみどんどん上手に飛ばせるようになりました。大人は分校が用意してくれた麦茶、児童は水筒のお茶を飲み水分補給、児童がほっぺを真っ赤にし竹とんぼ飛ばしに挑戦する姿に感動しました。大人たちも一緒に遊んでもらい楽しい時間となりました。



「昔遊び」の様子 水鉄砲



「昔遊び」の様子 竹とんぼ



「昔遊び交流会」参加者の自己紹介風景

【福浜の輪】

福浜学区連合町内会
会長 北山 康志

福浜学区は、岡山市の南部に位置し、歴史的には江戸時代や明治時代には、福浜周辺は海に面しているため漁業や貿易が盛んだった地域です。

昭和30年代後半、国道2号線バイパス工事が始まるとき、広がっていた田園地帯は大きな転機を迎え、一気に住宅・商業施設などが増え、幅広い世代が暮らす人口密度の高い福浜学区になりました。そして福浜小学校も明治26年創立以後、昭和25年に浦安分校、昭和27年に福島小学校、昭和50年に平福小学校、昭和53年には芳泉小学校と分離しました。しかし、学区内の世帯数は増加する反面、どの町内も子供会への参入数は減少し、子供会存続が難しくなってきてているのが現状です。共働き世代が当たり前となった現代であり、親も子も忙しいことも原因の一つだと思われます。そして、存続していくためにはどうすればいいかが、現在課題となっています。



学区体育祭の様子（昨年の様子）



防災体験祭の様子（令和元年の様子）

また、福浜学区は7町内で構成され活動を行っています。コロナで中止していました各町内会の行事も昨年より復活し、運動会、お祭りなどが、また体育協会はソフトボール大会、学区運動会、バレーボール大会を開催しています。特に学区運動会は、多くの応援のもと賑やかに行われ、各町内会の横のつながりを改めて実感しました。

また、今年11月には5年ぶりに福浜小学校にて、防災体験祭を予定しております。岡山市南消防署、岡山市消防団福浜分団、福浜小学校、各町内会、民生委員、学区体育協会などの協力のもと、地域からは約800名ほどの参加があります。起震車で震度7の体験や、消火器の使い方などを学び、体験を通して自分が何をすべきか、的確な判断が出来るよう一人一人の防災の意識を高める機会となっています。

今後も安心安全な地区を目指し、福浜に住んで良かったと思われる地域作りに、横の繋がりを大切に努めてまいります。

より良い地域づくりを目指して

大野学区連合町内会
会長 井上 繁則



私たちの大野学区は、矢坂山（魚見山）の麓を走るJR桃太郎線、大安寺駅から南に200メートルに位置している大野小学校・幼稚園を中心とする地域で11町内会で構成されています。令和2年3月末で大野学区連合町内会を一度解散することになりました。その後、何としても地域・学区内に連合町内会組織が必要であるとの気運の高まりの中、3年後の令和5年度から地域内にある11町内会の内9町内会での再発足となりました。地域内には岡山西警察署、大安寺中等教育学校があり、市街化調整区域も外れ、郊外型商業施設も次々と進出して、新しい住宅が増加している生活環境の良い住みやすい地域となっています。昨今の日常生活ではSNS、ネットゲームの利用等によりそれぞれの家庭内においても直接の会話が少なくなっていますが、コミュニケーションの在り方も変化しています。

そのような中にあって大野学区内では地域の各種団体の皆さんと一緒に活発な挨拶運動を実施しています。

また、安全安心ネットワークの皆さんによる登下

校の子供たちの防犯パトロール、見守隊活動を実施して「地域の安全・子供たちの安全」に取り組んでいます。こうした活動の中で、地域の皆さん、また子供たち一人ひとりと「声かけ」「心のふれあい」を通じて地域づくり、地域協働を力強く推進しています。今後、更に社会状況はどんどん変化していくことも考えられますが、「地域が人をつくる、人が地域をつくる」の言葉の如く、社会の変化に敏感に対応しながら、常に「より良い大野学区地域づくり」に向けた活動を地域の皆さんと共に取り組んで参ります。



とんどまつり



土のう作りと配布

防災訓練

鯉山学区連合町内会
会長 練尾 賢治



岡山市立鯉山小学校で鯉山学区安全安心ネットワーク主催で6月16日に防災訓練を行いました。今回は避難所の運営に重点を置き、体育館内でブルーシートを4枚敷き、通路幅1メートル50センチを作り、危機管理室職員より備蓄品確認とテント、ベッドの組立、簡易トイレの凝固実験、避難所開設物品説明と注意事項、岡山市北消防署によるAEDの使用法と心臓マッサージのやり方についての指導で全員が行うことができました。中庭では消防吉備津分団による水消火器の使用法を教えてもらい、参加者全員が消火訓練を行いました。ランチルームでは、西日本豪雨のDVDの視聴で被災体験者の話は臨場感が伝わってよかったです。吉備津郵便局からは非常時持出品展示の説明がありました。今回は拡声器2台の寄贈がありました。岡山市立高松中学校からは16名生徒がボランティアとしての参加があり、受付やプラカードを持って運営のスタッフとしてテキパキと動き、若々しくて、よく働いてくれてとても助かりました。

防災訓練を通して、参加者も協力的で一生懸命

に取り組まれ、今回は5グループに分かれて一人一人が参加でき良い体験ができました。地域の人との交流が深められたり多くの知識を得ることができました。

『災害は忘れたころにやって来る』、『今後30年以内に南海トラフ地震が70パーセント以上の確率で起こる』と言われています。日頃から、災害に対して備えがいかに大切であるかと考える良い機会でした。家族で時々災害の話をしているなければならないと思いました。



防災訓練の様子

住民協働で地域の利点を生かした街づくり

旭東学区連合町内会
副会長 紙名 克志



旭東学区は、岡山城下の玄関口として古くから栄え、戦災で焼け野原となつた後も真っ先に復興しました。現在、路面電車や複数のバス路線があり交通の便も良好です。

子育て・教育については特に恵まれており、旭東幼稚園・小学校、東山中学校の他に、旭東・博愛会・協立の3保育園、山陽学園中・高等部、岡山東商業高校があり、岡大附属幼・小・中や岡山朝日高校なども徒歩通学圏内です。また、学区内の旭東児童センターでは、就学前の親子が遊びを通じて交流することができ、子育てに関する講演や相談会も開催されています。夏休み期間中には地域住民協力のもと、小学生向けに旭東フリー塾を開催しています。

戦後復興が早く昭和30年代に街づくりが完了したため、平成期には市内でも屈指の高齢化地域と言われましたが、近年建て替えが顕著で、市営さくら住座は高規格12階建て2棟となり、JR門田宿舎も新しくなった他、一般の住宅も元の住人の子や孫、あるいは新入の方によって次々と建て替えられて世代

交代が進みつつあります。

今後は、新たに住民となられたみなさんと、永年居住されているみなさんが協働して、住んで良かったと思える街づくりを進めていければと思います。幸いなことに学区内に中区福祉事務所もありますので、行政とも連携しつつ、若い世代のみなさんの発想力と行動力、年配のみなさんの知恵と経験を持ち寄って、旭東学区が持つポテンシャルをさらに発揮していけるものと期待しています。



コミュニティー祭り
(千本引きの様子)



(餅つきの様子)

岡山市・西大寺 北前船寄港地 認定

西大寺学区連合町内会
会長 根木 克己



岡山市西大寺地区は、本年6月21日に北前船の寄港地として日本遺産に認定されました。この認定は、西大寺地区の歴史的価値と文化遺産が高く評価された結果です。西大寺地区は、門前町およびみなと町として江戸時代から明治時代にかけて、北前船の重要な寄港地として栄え、吉井川の高瀬舟と瀬戸内海の廻船、北前船による物資の集散地として繁栄しました。

岡山商工会議所西大寺支所をはじめ、西大寺活性化協議会や自治体等、地域住民が協力し、資料の収集や保存活動を進めた結果、北前船に関連する文献や遺物が体系的に整備され、その文化的価値が認識されました。また、五福通りのようなレトロな街並みが歴史的建造物群として大切に保存されています。

認定後、地元の同協議会や西大寺観光協会は寄港地を巡るレンタサイクル事業を準備し、観光客の誘致を図っています。岡山商工会議所の松田久会頭は、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落」の構成文化財に西大寺会陽など10件が追加認定されたことに触れ、「西大寺地区の活性化に弾みがつく」と期待を示しました。さらに、大森雅夫市長は「日本遺産のブランドを生かして観光誘客につなげる」と述べ、地域の発展に向けた意欲を表明しました。

新たに構成文化財となった西大寺会陽は、北前船で財を成した廻船問屋・神戸の北風家が祝主を務め

た歴史があります。金陵山西大寺やはだか祭りの様子を描いた巨大な絵馬、会陽に合わせて振る舞われる雑煮「宝来春」なども認定されました。雀八幡宮や金田村・漱石ロードでは、地域の歴史的建造物やレンタサイクルによる散策コースを通じて、地域の歴史を学ぶイベントや、吉井川上流の津山市と西大寺を結ぶフードフェスが行われています。

地域住民も歴史的建造物の保存に参加し、文化遺産を伝承する意識が高まっています。こうした取り組みは、西大寺地区にとって今回の日本遺産認定がゴールではなく、その後の誘客の流れを加速させることは言うまでもなく、観光地としての魅力を高め、地域コミュニティの一体感を醸成することにつながると期待されています。西大寺地域の方々が未来に向けた発展を目指し、次世代に貴重な遺産をつなぐため、希望を持ち新たな一步を踏み出す好機としてまいりたいものです。



認定記念式典の様子

災害に備えたフィールドワークから

東畠学区連合町内会
会長 西谷 武義



興除地区は、昔「吉備の穴海」と呼ばれる海で、江戸時代末期からの干拓により東畠地区は誕生しました。昨年度、興除新田開発200年を興除地区全体で祝ったところです。

さて、歴史からも当地区は地盤が軟弱で液状化が起こりやすく、海拔も0.3~0.8mと非常に低い地域です。昭和50年代には大雨による水害を経験しました。近年大地震や大雨など全国で災害が発生していますが、平成31年に東畠学区防災会を立ち上げ毎月定例会には各町内会からメンバー30名が参加するなど、防災に関心が高い地域となりました。災害が起きた場合を想定し毎回テーマを変えて話し合いを行い、年一度の防災訓練も実施しています。

今年8月にはフィールドワークを実施し、「東畠学区の用水がどの取水口から学区内に入り、どのようなルートで藤田学区に流れていくのか。」

「大雨による増水で河川が氾濫した場合の住宅地の被害は。」「樋門の役割は。」など想定しながら13名が自転車で回りました。

東畠地内に入る笛ヶ瀬川取水口（通称鉄筋樋門）が重要な樋門と確認し、次に北用水と福田用水が合流する湾の中の4か所の樋門（通称四ツ樋）では東畠地区内に分水するなど、学区内全長33kmの河川の長さに驚きました。

このフィールドワークを通して、東畠学区は地盤が低く大雨での増水で洪水が起こりやすいことが確認でき、緊急避難をどうするかが今後の検討課題であると感じました。

貴重な歴史的樋門である大水門（東畠と内尾地区の境）の見学も行い、巨大な花崗岩の運搬や軟弱地盤への築造など、江戸時代の高い技術を伺うこともできました。



大水門



樋門の役割について説明

ひらふく健康21ウォーキング大会

平福学区連合町内会
会長 小林 泰三



我が地域では、保健所健康づくり課健康増進係南区南地域の趣旨に則り、ひらふく健康21として活動しています。

以前からひらふく健康21ウォーキング大会は学区の各種団体との協賛で開催していました。

地区の「ええとこ発見図」より、神社・仏閣・河川・干潟・石碑等見学しながら、参加者同士がコミュニケーションを取りながら心地よい汗を流していただいている。

令和2年と3年は拡散防止対策の為中止となつた。外を歩きたいと思っている人が沢山いました。

令和4年は体調状態が後追いの出来る書類を確保（体温・体調・連絡方法等）して、保健所の許可が出たので実施することが出来ました（153名参加）。終了後、数日間は新規拡散がないか、心配でたまりませんでしたが、何事もなく過ごせて安堵しました。

令和4年の実績に基づいて令和5年は5月からコロナが5類に移行したこともあり、大々的に開催することにしました。幼保小中学生と保護者巻

き込みと宣伝活動を強化したことと、参加賞を充実させたこと等で非常に多くの参加者（290名参加）になりましたが、5類の対策を守る事で無事終了することが出来て安堵しています。

終了後のアンケートでは、是非今後も継続していただきたいと強い要望がありました。

地域の一大イベントになり、今年から予算の充実を考慮し、地域住民の健康とコミュニティを充実させたいと思っています。



令和5年度のウォーキングの様子



■ 岡山市連合町内会の動き

○定期総会（5月31日）<関連記事P2>

○常任理事会

第1回（4月12日）

議題 令和5年度事業報告（案）と
会計報告（案）について他

第2回（6月26日）

議題 岡山市町内会長等懇談会について他

○理事会

第1回（4月22日）

議題 令和5年度事業報告（案）と
収支決算（案）について他

第2回（6月24日）

議題 岡山市町内会長等懇談会について他

○会計監査会議（4月16日）（7月11日）

○専門委員会

・会報第43号編集委員会（7月9日）（8月2日）

・広告取扱等検討委員会（7月12日）

・ICT推進専門委員会（7月10日）

○岡山市長との懇談会（7月22日）<関連記事P4>

○岡山市議会との懇談会（8月6日）<関連記事P4>

○受賞報告

◇岡山市連合町内会会長表彰（5月31日）<関連記事P3>

- ・10年以上学区・地区連合町内会長の職にある方またはあった方
…9名（表彰状）

- ・5年以上学区・地区連合町内会長の職にあって退職された方
…2名（感謝状）

◇永年勤続町内会長・区長等岡山県知事表彰（5月20日）

- ・岡山市関係…15名



永年勤続町内会長・
区長等岡山県知事表彰



■ 岡山県自治会連合会の動き

○定期総会（6月7日）

<美咲町林業センター>

・令和5年度事業報告及び収支決算報告・
監査報告他

○正副会長会議（5月23日）

■ 全国自治会連合会の動き

○常任理事会

4月23日（オンライン開催） 6月13日（東京都） 8月22日（福井市）

○理事会

6月13日（東京都） 8月22日（福井市）

○全国自治会連合会中四国ブロック会

6月13日（東京都）



法則クイズ

【問題】 穴あき問題です。①～③に入る文字をすべて答えてください。

J	2	①	A
5	み	J	②
な	③	11	し

ヒント

※升目は12個あります。

正解者の中から抽選で10名の方に粗品を進呈します。
 〒住所・氏名を記入の上、下記までお送りください。
 〈送付先〉 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
 岡山市連合町内会 会報編集委員会
 〈締切〉 令和6年10月31日必着
 〈発表〉 発送をもって代えさせていただきます。

前号の答え

1 申土 + 示偏	= 神社	6 右牙 + 草冠	= 若芽
2 直木 + 木偏	= 植林	7 祭艮 + 古里偏	= 際限
3 令東 + 二水	= 冷凍	8 也或 + 土偏	= 地域
4 斤刀 + 進繞	= 近辺	9 田相 + 下心	= 思想
5 方弗 + 行人偏	= 徘徊	10 愛未 + 日偏	= 曖昧 など

岡山市市民憲章を知っていますか？

岡山市は美しい自然と豊かな風土に恵まれ、すぐれた教育文化の伝統を持っております。私たち市民は、この岡山市を愛し市民であることを誇りにしていますが、さらに、みんなの努力と協力によって、より美しく住みよい近代的民主社会を築いてゆくことを念願し、ここに岡山市民として実践してゆかねばならない日常生活の規範を定めます。

- みんなに親切をつくし、あたたかい楽しいまちをつくりましょう。
- 秩序と規則を守り、明るい安全なまちをつくりましょう。
- 花や木をたいせつに育て、美しい緑のまちをつくりましょう。
- 紙くずやゴミの始末をよくし、気持ちよい清潔なまちをつくりましょう。
- 文化財をたいせつに守り、伝統あるゆかしいまちをつくりましょう。



編集後記

新型コロナウイルス感染症が収束傾向にある中で、地域の活動が少しずつ再開されていることをこの度の編集に携わって感じることができました。一方で、今年も猛暑が続いています。特に熱中症に気を付けましょう。熱中症は年齢・昼夜を問わず襲ってきます。

熱いのは気候だけではありません。一つでも多くのメダルの獲得を目指す世界各国の選手たちが熱い戦いを繰り広げるパリオリンピック・パラリンピックです。岡山市出身の選手も大活躍しました。また、アメリカの大統領選、国内では、次期総理を決める総裁選も熱を帯びてきました。会報が皆様のところへ届く頃には、結果や見通しが明らかになっていると思います。そして大変なのが海水温の上昇です。東北では養殖のホタテ貝の多くが死んでいくその代償ではないと思いますが「伊勢エビが採れる」といったニュースも耳にします。

最後になりましたが会報の発行にあたり御協力いただきました協賛企業様、記事をお寄せいただいた町内会長様に心より御礼申し上げます。

まだまだ暑い日が続くと思いますが、皆様方が健やかに過ごされますことを願って編集後記といたします。

【編集委員長】 正保 弘行
 【編集副委員長】 竹井 秋人
 【編集委員】 袴園 茂・長門 修二
 多賀 克充・小林 泰三

